



福山市立有磨小学校 4年学年通信 2025年(令和7年) 5. 17 N05

明日は運動会です

明日は、こどもたちが待ちに待った運動会です。四年生の出場する種目は、徒競走「Do your Best!!」、団体競技「ありまんVSうめりん」、表現「ありまソーラン」、「綱引き」「借り物競争」です。今年は、児童会が、地域の人との交流を目的に考えた「お題の物を借りてこよう!」という借り物競争を全校児童でします。

これまで、休憩時間などを利用して団体演技や団体競技の練習をしてきました。団体競技で使う20個の箱にコピー用紙を貼ったり、「うめりん・あまりん」の絵に色付けをしたりするなど、三年生と協力しながら作ってきました。みんなが協力したり工夫したりしながら作っていく中で、学年間の交流ができ、このチームワークが競技にも活かせるような気がしました。

団体演技では、法被を着て、頭にハチマキをして、「ソーラン」を踊ります。その法被には、自分の思いを込めて好きな1文字を書きました。

私は、法被に「楽」という漢字を入れようと思います。わけは、先生がいつも「勝ち負けじゃなくて、みんなで楽しむのが目的」と言っているので、「みんなで楽しむぞ。」という気持ちで「楽」を入れようと思いました。みんなとかぶらないようによくよく考えて決めたので、自分でもいいなと思いました。運動会が楽しみです。

現在の社会を見ると、「できること、分かることがよいこと」に価値を求める風潮があります。それも一つの価値でしょうが、もっと大切な価値があるのではないのでしょうか。「100点をとって、おうちの人にほめられた。」「運動会で1位をとったから、100円もらった。」など、こんな声がこどもたちから聞こえてくるときがあります。「100点を取る」「1位になる」ことは、あくまで結果であり、自分よりタイムが遅い友だちがいれば自分は1位になるけど、自分よりタイムが速い友だちだと最下位になります。また、1位を走っていても、転倒したら1位になれないこともあります。しかし、どんな友だちと競争しても変わらないものがあります。それは、「どんな場面であろうと、全力をつくすこと」です。こどもたちには、「自分のもっている力を出し切り、最後までやりきるような人」になってほしいと、常に思っています。私は、こどもたちに、「分からないことやできないことは、誰にでもある。こどもだけでなくおとなもだよ。」と言っています。誰だって分からないこと、できないことは必ずあります。できることよりできないことの方が多いかもしれませんね。大切なことは、その時「分かるように、できるように頑張ろう。」と思うか、「分からないから、できないから、もうやめた。」と思うかです。「頑張ろう」と思うこどもは、難局に出くわしたとき、必ず自分の力で乗り越えようと、いろいろな解決方法を見出すのではないかと思います。おうちの方には、結果ではなく、こどもたちが頑張ってきた過程を、当日の演技や競技、こどもたちの話から汲み取っていただき、声かけをしていただければと思います。

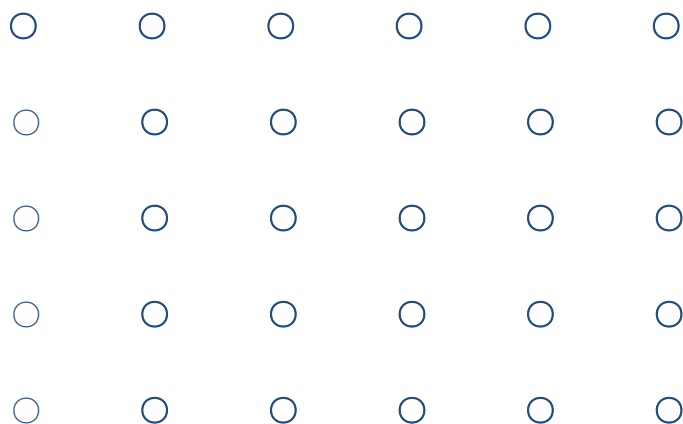
一文字に込めた思い

- 「壺」お母さんたちが心を込めてつけてくれた名前だから(いっせい)
- 「大」大きくむねをはりソーランをおどるため(だいち)
- 「勝」ほかの学年よりすごいおどりにして、一番きれいだと思わせたいから(あさひ)
- 「頼」自分の名前の一つを書いてあったら、もっと頑張れると思ったから(よりと)
- 「力」みんなで力を合わせてソーランをおどりたいから(こうき)
- 「音」音楽を聞いて上手におどりたいから(ゆうと)
- 「凱」お家の人につけてもらった大切な名前で、頑張っているよと伝えたいから(よしたか)
- 「合」力を合わせて頑張りたいから(みこ)
- 「恋」自分の名前の漢字に心がついているから(れん)
- 「菜」家の人に、初めから最後までよく見てほしいから自分の名前の最後にした(ゆいな)
- 「花」おうちの人に初めてもらったプレゼントで、大切だから(わか)
- 「莉」自分の名前が一番好きな字だから(るり)
- 「円」大きな法被に、まるい心で運動会も頑張れると思ったから(まどか)
- 「楽」勝ち負けでなくみんなで楽しい思い出にしようと思ったから(みはる)
- 「彩」みんな、それぞれの彩りが、運動場に広がるといいなと思ったから(のあ)
- 「協」みんなで協力してつくるありまソーランだから(なつみ)
- 「麦」自分が大切にしている名前だから(むぎ)
- 「瑞」頑張っているよと知らせ、成長したことを見てもらいたいから(みずほ)
- 「結」お家の人に自分だと分かるから(ゆうみ)

こどもたちの頑張りをベストポジションで記録に残してください。

【表現】

朝礼台



【徒競走】

()組 ()コース